【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成22年5月13日(2010.5.13)

【公開番号】特開2009-75227(P2009-75227A)
【公開日】平成21年4月9日(2009.4.9)
【年通号数】公開・登録公報2009-014
【出願番号】特願2007-242394(P2007-242394)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｆ　3/02　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　2/01　(2006.01)
Ｂ４１Ｍ　5/00　(2006.01)
Ｂ４１Ｍ　5/50　(2006.01)
Ｂ４１Ｍ　5/52　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　7/00　(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　7/00　(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　15/02　(2006.01)
Ｄ０６Ｍ　17/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｆ　3/02　Ｈ
Ｂ４１Ｊ　3/04　１０１Ｙ
Ｂ４１Ｍ　5/00　Ｂ
Ｇ０３Ｇ　7/00　Ａ
Ｇ０３Ｇ　7/00　Ｍ
Ｇ０９Ｆ　7/00　Ｎ
Ｇ０９Ｆ　15/02
Ｄ０６Ｍ　17/00　Ｋ

【手続補正書】
【提出日】平成22年3月31日(2010.3.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項４】
前記接着剤層が耐熱性に優れ、レーザープリンター及びインクジェットプリンターで印刷可能であることを特徴とする請求項１乃至３の何れかに記載の印刷用布帛。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、本発明の請求項２に係る印刷用布帛は、請求項１に記載の印刷用布帛であって、形状寸法が、日本工業規格で定められたものである手段を採用している。また、本発明の請求項３に係る印刷用布帛は、請求項１又は２に記載の印刷用布帛であって、前記布帛側に残留した前記接着剤層が、他の資材に貼着可能であると共に、前記他の資材から剥離したときに再び前記布帛側に残留する手段を採用している。また、本発明の請求項４に係る印刷用布帛は、請求項１乃至３の何れかに記載の印刷用布帛であって、前記接着剤層が耐熱

性に優れ、レーザープリンター及びインクジェットプリンターで印刷可能である手段を採用している。